

## 前回指摘事項の取り扱いについて

### 1 追加すべき点

#### 社会保障制度の充実と低所得者対策について

高齢者が何歳になっても、どんな状態になっても安心して生活するためには介護保険制度を含めた社会保障制度が継続的、安定的に運営されていることが前提となる。

また、低所得者対策についても、現状をよく把握して充分配慮していく必要がある。

### 2 発表の際に強調すべき点

#### (1) 情報提供の重要性

高齢化、介護に関して、必要と思われる事業を議論している中で、実は既に区や社会福祉協議会等が実施しているものも少なくなかった。せっかくだけに行われている事業が活用されるように、区民に対して有効な情報提供の手段を構築していく必要がある。

#### (2) 地域におけるネットワーク作り、地域のコーディネーター作り

(1)に関連する部分もあるが、地域において、地域住民、町会・自治会、NPO・ボランティア、事業者、社会福祉協議会、区や都が活動しているが、実際に活動している方の話を聞くと、残念ながらタテ割りで連携しているとは言えない。事情、理由があることはわかるが、それぞれの活動を有機的に結びつけるネットワーク、コーディネーターの必要性が痛感される。

### 3 発表にあたって工夫すべき点

#### (1) 数値、図をつかってわかりやすく

#### (2) 数値目標の設定

\* 現時点では分科会で検討していないので困難か。最終提言までに考えられれば